



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月5日  
上場取引所 東

上場会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社  
コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大友 啓行  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 浅野 直 (TEL) 042-345-3131  
四半期報告書提出予定日 平成29年10月6日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	112,300	2.4	3,211	6.1	3,576	8.8	2,147	30.6
29年2月期第2四半期	109,658	1.1	3,027	26.8	3,287	22.8	1,644	△13.0

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 2,006百万円 (41.9%) 29年2月期第2四半期 1,414百万円 (△27.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	122.44	—
29年2月期第2四半期	93.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	89,157	44,468	49.9
29年2月期	83,877	43,176	51.5

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 44,468百万円 29年2月期 43,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	40.00	40.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	219,600	2.5	4,150	1.2	4,450	3.4	2,500	9.6	142.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	17,625,660株	29年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	91,000株	29年2月期	87,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	17,537,291株	29年2月期2Q	17,537,998株

(注)当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載いたします。

・平成29年10月11日(水)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界では、「安全・安心」を求める消費者意識が高まる中、雇用環境の変化による人手不足・労働コストの上昇などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主力事業である食品関連事業において、おにぎりや和菓子の販売伸長などにより売上を拡大し、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,123億円（前年同期比26億4千1百万円、2.4%増）となりました。

利益面では、増収効果などにより、営業利益は32億1千1百万円（前年同期比1億8千4百万円、6.1%増）、経常利益は35億7千6百万円（前年同期比2億8千8百万円、8.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億4千7百万円（前年同期比5億2百万円、30.6%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

#### [食品関連事業]

納品店舗数の増加、おにぎりや和菓子の販売伸長などにより、売上高は882億5千7百万円（前年同期比24億3千7百万円、2.8%増）となりました。また、増収効果などにより、営業利益は28億5千5百万円（前年同期比4億4千1百万円、18.3%増）となりました。

#### [食材関連事業]

水産加工品の取扱高が減少したことなどにより、売上高は130億9千2百万円（前年同期比2億2千5百万円、1.7%減）となりました。一方、利益率の高い商品の取扱高が増加したことなどにより、営業利益は2億7千2百万円（前年同期比4千万円、17.3%増）となりました。

#### [物流関連事業]

セブン-イレブン向け店舗配送の増収率鈍化などにより、売上高は75億3千2百万円（前年同期比4千1百万円、0.6%増）にとどまりました。利益面では、人件費の増加などにより、営業利益は5千7百万円（前年同期比8千6百万円、60.1%減）となりました。

#### [その他]

人材派遣事業が好調だったことにより、売上高は34億1千7百万円（前年同期比3億8千7百万円、12.8%増）、営業利益は3億2千5百万円（前年同期比6千1百万円、23.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて52億7千9百万円増加し、891億5千7百万円となりました。これは受取手形及び売掛金、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて39億8千7百万円増加し、446億8千8百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金、リース債務が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて12億9千1百万円増加し、444億6千8百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて11億7千2百万円減少し、97億6千4百万円となりました。

営業活動による資金の増加は57億9千4百万円(前年同期は54億1千5百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(30億1千3百万円)、減価償却費(24億7千1百万円)によるものです。

投資活動による資金の減少は46億5千6百万円(前年同期は14億1千1百万円の減少)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出(△38億9千9百万円)、無形固定資産の取得による支出(△1億7千2百万円)によるものです。

財務活動による資金の減少は21億9千万円(前年同期は11億7千5百万円の減少)となりました。これは、リース債務の返済による支出(△10億9千8百万円)、配当金の支払額(△7億3百万円)および長期借入金の返済による支出(△3億7千7百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月14日付「平成29年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表した、平成30年2月期通期の連結業績予想を、下記の通り修正します。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株式に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	221,000	4,600	4,700	2,500	142.55
今回修正予想(B)	219,600	4,150	4,450	2,500	142.56
増減額(B-A)	△1,400	△450	△250	—	
増減率(%)	△0.6	△9.8	△5.3	—	
前期実績	214,305	4,099	4,304	2,281	130.09

(修正の理由)

売上高は、上期の食品関連事業の伸び率が想定を下回ったことなどを反映し、前回予想から14億円減額します。

利益面では、一部工場の稼働率が想定を下回ったことや米価の上昇などを反映し、前回予想から、営業利益を4億5千万円、経常利益を2億5千万円減額します。親会社株式に帰属する当期純利益については、税金費用が想定を下回っていることから、前回予想通りとしています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,937	9,764
受取手形及び売掛金	18,039	21,714
商品及び製品	3,404	2,449
原材料及び貯蔵品	805	1,073
その他	3,356	3,994
貸倒引当金	△226	△412
流動資産合計	36,316	38,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,999	47,403
減価償却累計額	△29,396	△30,054
建物及び構築物(純額)	17,602	17,349
機械装置及び運搬具	18,760	18,551
減価償却累計額	△14,201	△14,432
機械装置及び運搬具(純額)	4,559	4,118
土地	12,315	13,119
建設仮勘定	63	1,873
その他	12,510	13,423
減価償却累計額	△5,624	△5,805
その他(純額)	6,886	7,618
有形固定資産合計	41,427	44,080
無形固定資産		
その他	920	962
無形固定資産合計	920	962
投資その他の資産		
その他	5,330	6,121
貸倒引当金	△116	△592
投資その他の資産合計	5,213	5,529
固定資産合計	47,561	50,572
資産合計	83,877	89,157

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,380	12,602
1年内返済予定の長期借入金	1,498	1,414
未払金	9,961	10,369
未払法人税等	475	1,129
賞与引当金	1,160	1,223
役員賞与引当金	—	59
その他	3,184	3,890
流動負債合計	26,660	30,689
固定負債		
長期借入金	2,875	2,582
退職給付に係る負債	2,826	2,721
役員株式給付引当金	78	98
関係会社事業損失引当金	51	—
関係会社債務保証損失引当金	444	—
資産除去債務	1,202	1,162
その他	6,561	7,434
固定負債合計	14,040	13,998
負債合計	40,700	44,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	26,858	28,301
自己株式	△261	△271
株主資本合計	42,791	44,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161	156
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	137	△4
退職給付に係る調整累計額	88	94
その他の包括利益累計額合計	385	245
純資産合計	43,176	44,468
負債純資産合計	83,877	89,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	109,658	112,300
売上原価	92,939	95,200
売上総利益	16,718	17,099
販売費及び一般管理費	13,691	13,887
営業利益	3,027	3,211
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	319	345
受取賃貸料	80	83
その他	78	98
営業外収益合計	483	532
営業外費用		
支払利息	46	53
固定資産除却損	58	41
賃貸収入原価	60	60
その他	57	11
営業外費用合計	223	167
経常利益	3,287	3,576
特別損失		
減損損失	—	377
関係会社貸倒引当金繰入額	—	185
関係会社事業損失引当金繰入額	450	—
特別損失合計	450	562
税金等調整前四半期純利益	2,837	3,013
法人税、住民税及び事業税	1,327	1,217
法人税等調整額	△134	△350
法人税等合計	1,193	866
四半期純利益	1,644	2,147
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,644	2,147

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	1,644	2,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△4
繰延ヘッジ損益	△16	1
為替換算調整勘定	△193	△142
退職給付に係る調整額	△6	5
その他の包括利益合計	△230	△140
四半期包括利益	1,414	2,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,414	2,006

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,837	3,013
減価償却費	2,320	2,471
減損損失	—	377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	661
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	450	△51
関係会社債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	△444
賞与引当金の増減額(△は減少)	446	62
受取利息及び受取配当金	△324	△350
支払利息	46	53
固定資産除却損	58	41
売上債権の増減額(△は増加)	△3,894	△3,682
たな卸資産の増減額(△は増加)	△487	693
仕入債務の増減額(△は減少)	1,954	2,226
未払金の増減額(△は減少)	567	792
その他	1,445	105
小計	5,421	5,971
利息及び配当金の受取額	324	350
利息の支払額	△46	△53
法人税等の支払額	△283	△473
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,415	5,794
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△843	△3,899
無形固定資産の取得による支出	△334	△172
その他	△232	△584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,411	△4,656
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	—
長期借入れによる収入	960	—
長期借入金の返済による支出	△386	△377
リース債務の返済による支出	△947	△1,098
自己株式の取得による支出	△0	△14
配当金の支払額	△703	△703
その他	2	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,175	△2,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	△120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,736	△1,172
現金及び現金同等物の期首残高	6,493	10,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,229	9,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、平成29年4月14日開催の取締役会において、本社移転を決議いたしました。この本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ32百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	85,820	13,318	7,490	106,628	3,029	109,658	—	109,658
セグメント間の 内部売上高または振替高	—	1,144	2,034	3,178	7,508	10,686	△10,686	—
計	85,820	14,462	9,524	109,807	10,537	120,345	△10,686	109,658
セグメント利益	2,414	232	143	2,790	263	3,054	△27	3,027

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△27百万円は、セグメント間取引消去額であります。なお、当社のグループ管理費用等については、持株会社体制への移行前であり、算出等が実務上困難であるため、食品関連事業に算入しております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	88,257	13,092	7,532	108,882	3,417	112,300	—	112,300
セグメント間の 内部売上高または振替高	—	1,339	1,972	3,311	7,223	10,535	△10,535	—
計	88,257	14,432	9,504	112,194	10,640	122,835	△10,535	112,300
セグメント利益	2,855	272	57	3,185	325	3,510	△299	3,211

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△299百万円には、セグメント間取引消去△6百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△293百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品関連事業」において、釧路工場が保有する固定資産について収益性の低下がみられたため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては377百万円です。